

青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和7年度 第236号 7月1日

青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

第18回あおきっ子合宿

今年のテーマは
「レベルアップ」



今年度のあおきっ子合宿は、5月18日(日)～24日(土)の6泊7日文化会館で行われ、青木小学校5、6年生の希望者26名と信州大学教育学部の学生33名が参加しました。

今回のテーマは「レベルアップ」です。入浴はくつろぎの湯を利用し、夕食の準備は食生活改善推進協議会の方々と一緒に行いました。小学校の先生方、保護者の皆さん等大勢の方々のご支援により、無事に終わることができました。



児童アンケート



質問①あおきっ子合宿で楽しかった事や思い出に残ったことは何ですか？

- ★バイキングがおいしかった
- ★きもだめし
- ★まくらなげ
- ★ハンバーグ作り
- ★歴史クイズ
- ★お天気コーナー
- ★巨大すごろく
- ★大学生と一緒に遊んだこと
- ★つねっしゅう VS 青木女子



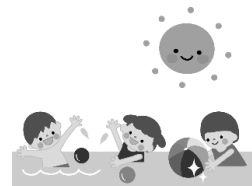
質問②この合宿で「成長することができた！」と思うところがありましたか？

- ★トマトを食べられたこと
- ★仲が深まった
- ★料理がうまくなった
- ★かみの毛が1cm成長した
- ★時間で切りかえることができた
- ★朝食を完食
- ★お風呂でめいわくのかからないようにできた
- ★早寝早起き
- ★食器洗いがきれいにできるようになった



質問③大学生といっしょに「こんなイベントや活動をしてみたい！」というリクエスト

- ★学校を1週間休める合宿
- ★人生ゲーム
- ★スポーツ大会
- ★中学生でもお泊りしたい
- ★ハロウィン
- ★みんなでおにごっこ
- ★クリスマスのイベント
- ★プール
- ★とうそうちゅう
- ★アイスクリームを作りたい
- ★雪の中で雪合戦や雪だるま作り



質問③最後にお世話になった大学生のみんなにメッセージを！

- ★きもだめしのおばけ役の人が、おどかすのがめっちゃ上手だった。バイキングで一番を決められないくらいみんな美味しかった。私は、大学生のみんなが大大大大好きです👏
- ★1週間楽しいきかくを考えてくれてありがとう。ごはんのメニューを考えてくれたり、登下校するときもいっしょについてきてくれたりいろいろ楽しかったです。来年の合宿は来られないかもしれないけど、これからもいろいろな企画にさんかしたいです。
- ★1週間遊んでくれたり、めんどうをみてくれたり、ベンキョウを教えてくれてありがとうございました！最後の合宿だけど、中学生も遊びにきていいならぜったい行きます！これからもよろしくお願いします！



大学生アンケート



- ◆合宿に参加して、子どもは自分が思っているよりも良い意味でも悪い意味でも純粋だということを実感した。最初、男子とは仲良く話せていたが、女子とは良いリアクションが返ってこず、あまり仲良くできていないと感じていた。しかし普段の生活を通して、日常会話を続けることで最終的には気兼ねなく話すことができるようになった。子どもと関わり合おうという姿勢が子どもとの仲の良さに関係しているのではないかと思った。
- ◆私は去年信州大学教育学部を卒業した身で、学生ではなくなった状態で「You 遊」の活動に参加することに少し緊張しました。しかし、青木の子どもたちは今までと変わらずに「まっちゃん！」と声をかけてくれました。それが本当にうれしくて、心が温まりました。学生から何度も活動に参加した事で「You 遊」が子どもたちの居場所だけでなく、私自身の居場所になっているなど実感しました。学生ではない私に参加させていただきありがとうございました。また来ます！



- ◆私は今回、初めて活動に参加しました。その中で子どもたちと一緒に行動したり、子どもがいない時の準備等の活動を通して、実際に教員になった時のことを考えることができました。子どものことを考えてしたつもりの行動が、うまく表に出して動くことができず、思っていたようにできなかったこともありました。やはり、頭の中で考えているだけでは、実際に動くのは難しいと感じました。経験を重ねて頭の中を少しでも正確に表わせるようになりたいです。
- ◆毎年児童の顔ぶれが変わって、合宿の雰囲気や接し方など色々な子どもとの関わり方を経験することが

できた。自身の専門は教育でないものの、なにかしら役に立つと思う。

- ◆運営の点では、今回自分に任された仕事の量を調整しきれず、十分な睡眠を取れなかったのが課題。また仕事を他人に分配するなどの作業も上手くできなかったことが課題。日々でてくる1日の課題や改善点を翌日に活かしきれず、少し疑問が残る形で進めてしまったことも課題。

- ◆1週間の合宿を通して、昨年からの子どもたちの成長を感じた。6年生になった子どもたちが、学生の指示だけでなく、自分の意志で動く場面が見えたことが嬉しかった。皿洗いやお風呂の時間、ドライヤーの使い方など、学生に相談して行動してくれた。正直とっても疲れた。しかし、3度目にして1番色々あった合宿だったなと思っている。



4年生という立場になって頼ってくれることが増え、そこに対して自分の技量が全然足りてなかったふがいなさを感じた。そして青木村の子どもたちのあたたかさを感じた。「学生に会いたいから」「一生の思い出になるから」そんな理由で通学合宿に参加してくれる素敵な場だと思いました。貴重な機会をありがとうございました。

- ◆毎日決まったスケジュールで集団行動する中で、時間に間に合うように早く行動ができるようになっていたと思います。友たちの困っていることに気づいて助けたり、それに対して「ありがとう」とお礼を言ったりする素敵な場面を見



ることができました。「ありがとう」が広まっていたのがいいなと思いました。

初めて参加してみて、小学校高学年の子どもたちと関わることがあまりなく、どのように関わればいいのか戸惑いましたが、だんだんと心を開いてくれる子も増えてとも楽しかったです。

先輩方は本当に関わり方が上手で、もっと参加して私もうまく関われるようになりたいと思いました。写真や動画、参加者や保護者の方のお話を聞いて、素敵な1週間に関わって本当に貴重な体験になったなと感じました。楽しさだけではなく裏での仕事や関わる中での学びもありました。ありがとうございました。

- ◆自分は初めて通学合宿へ参加した。1日を除いて全日程に参加したが、その中で主に班の児童との仲を深めることができたと思う。また班の児童たちの良い所を見つけるという経験を毎日できて、今後は教師として子どもたちと多く関わっていこうという自分にとってありがたい体験でした。また改めて子どもの良さを実感する機会になりました。



- ◆素直に楽しかったです。初めて小学生との関わるイベントに参加しました。毎日会うたびに子どもたちが少しずつ心を開いてくれる喜びを多く感じることができました。発見した事としては、子どもに注意する難しさです。



先輩たちの技術、凄さを近くで感じることができました。小学校教師として良い面しか考えていなかったのですが、しんどい面に触れることができました。

- ◆2回目の参加で、1週間全日参加させていただきました。始めなかなか心を開いてくれなかった子どもも数日たつと不安そうな顔よりも笑顔が増えていて私としてもとてもうれしい気持ちになりました。今から自分が何をしなくてはいけないのかをしっかりと分かっていて、自ら「～時に～をするんだよ」と教えてくれる子もいました。自分がどんなに疲れている状態でも子どもたちが元気にすごしている姿を見てたくさん元気をもらう機会が多かったです。とっても楽しい1週間でした。



- ◆昨年で役員を終了してもっと子どもと近い距離で関わることができた1週間でした。初参加の5、6年生も多く、新鮮な気持ちで臨んだ通学合宿で、私も成長できたかと思います。子どもが自ら気づき、実行する、そのための環境づくりの重要性を強く実感しました。そのためには、子どもの近くで子どもの考えを読み取って子どもと共に過ごすことが大事なと学ぶことができた1週間でした。

- ◆1週間の開催、参加させていただき、ありがとうございました。コロナ明けで3年目の開催ということで、とてもスムーズに行うことができました。子どもたちは、最初話かけても反応しなかった子が、あいさつするようになり、苦手な食べ物をがんばって食べている姿がありました。全体を通して、男女関係なく話しているのが印象的でした。これからも楽しく通学合宿を行っていきたいです。



編集後記

今年は中学生が遊びに来て、食事などの手伝いをしてくれました。活動内容もレベルアップできたのではないのでしょうか。子どもたちからは、イベントや活動のリクエストがたくさん来ています。今後も大学生の皆さんと交流できる機会がたくさんあるといいですね。

